



集まれ!
いなしきっ子夏祭り

～子供たちの物を大切にする心を育む～
稲敷市おもちゃ病院
出張開院

目次

表紙・P2 集まれ!いなしきっ子夏祭りにおもちゃ病院が出張開院
平成29年度第1回稲敷市介護支援ボランティア養成研修の実施

P3 椎塚楽友会『認知症サポーター養成講座』を実施しました
日赤奉仕団根本支部 地域学習会『脳いきいき体操の体験』

P4 第11回認知症介護教室 開催のお知らせ
災害ボランティアの基本を見直してみよう



子育て支援センター合同「集まれ！いなしきっ子 夏祭り」 稲敷市おもちゃ病院 出張開院

平成 29 年 8 月 4 日（金）子育て支援センター合同イベント「集まれ！いなしきっ子夏祭り」にて、ボランティア団体『稲敷市おもちゃ病院』が出張開院を行いました。

夏祭り当日は、たくさんの方におもちゃを持ってきていただき、受付待ちの列ができるほどでした。

ドクターの皆さんも、元気な子供とふれあいながら、おもちゃの治療を行っており、とても充実したボランティア活動となったそうです。



おもちゃ病院 開院中

～子供たちの物を大切に作る心を育む～



稲敷市おもちゃ病院は、

毎月第 1 日曜日 午後 1 時から午後 3 時まで

ショッピングセンターパンプ 2F まちかど情報センターで開院しています。

「音が鳴らない」「電池を換えたのに動かない」「タイヤが取れてしまった」などおもちゃが壊れたら、是非 1 度おもちゃ病院へ！！

お問合せ 稲敷市ボランティアセンター ☎ 029-892-5711

平成 29 年度 第 1 回稲敷市介護支援ボランティア養成研修の実施

平成 29 年度より、稲敷市でも介護支援ボランティア（ポイント制）制度が始まりました。

平成 29 年 6 月、平成 29 年度第 1 回養成研修が実施され、19 名の方が新たに稲敷市介護支援ボランティア登録を行いました。

研修を受けたボランティアさんから「勉強になった」「普段は車イスなど使う機会がないので、いい経験になった」という声もいただき、今後の活動に活かせる研修となったようです。

第 2 回養成研修は、11 月ごろを予定しておりますので、募集の際はお申込みをよろしくお願いいたします。



●介護支援ボランティア（ポイント制）制度とは？

ボランティア活動を通しての介護予防の推進や、助け合い・支え合いの地域づくりを目的とした制度で、介護支援ボランティアに登録したボランティアさんが介護施設でのボランティア活動を行うことでポイントが付与され、貯めたポイントに応じて交付金が支給される制度です。

椎塚楽友会 『認知症サポーター養成講座』 を実施しました

椎塚地区でサロン活動を行っている団体「椎塚楽友会」が、8月地域の高齢者を支える活動として、認知症サポーター養成講座を実施しました。

地域の方も参加され「認知症と物忘れの違い」や「認知症サポーターの役割」など講義を受けられました。大切なことは『認知症は早期発見、早期治療でその先の人生が大きく変わってくる』認知症になったとしても『家族や近所の方の協力があれば症状が改善するものもある』ということでした。他にも、認知症の方との接し方や考え方、自分が認知症にならないための予防方法や予防体操などの講義を受け、参加者には認知症応援者の証「認知症サポーターオレンジリング」が手渡されました。



日赤奉仕団根本支部 地域学習会『脳いきいき体操の体験』

日赤奉仕団根本支部は、地域の高齢者の友愛訪問や障がい者施設へ古紙の寄付、文化祭での募金活動など行っているボランティア団体です。

日赤根本では毎年、地域の方も参加する学習会を行っており、本年度は、ボランティア団体『脳いきいき』を講師に、頭も体も元気になる体操「シナプソロジー」の体験を行いました。

参加した皆さんは、頭と体を同時に動かす体操などで、なかなか思うように動かない体に笑いながら、楽しく体操体験を行いました。

脳いきいきの体操は継続することで効果が出るという事で、今後の体操も検討していくそうです。



ボランティア募集情報などをいち早くお届け！！（ボランティア情報配信システム）

ボランティアセンターでは、市内のボランティア活動がより活発になるよう。ボランティア募集情報や、民間助成金情報、ボランティアに関する研修、イベントなどを速やかに、お届けしています。

どなたでも登録可能です。

（パソコン登録）http://www.inashiki-shakyo.or.jp/mail_service/

（携帯電話登録）http://www.inashiki-shakyo.or.jp/mobile/mail_service/

＜お問合せ＞ 稲敷市ボランティアセンター ☎ 029 - 892 - 5711



第11回 認知症介護教室 開催のお知らせ 『認知症予防の食事について』

NPO 法人認知症介護家族の会うさぎでは、第11回認知症介護教室を実施いたします。今回の教室は、「認知症予防の食事について」をテーマに管理栄養士の先生に講義いただきます。

認知症の発症には、長年の生活習慣が影響すると言われており、中でも食事の影響は大きいと言われております。では認知症にならないための食事とはどのようなものなのでしょうか？この機会に学び、認知症予防に役立てましょう。

講義の後は、認知症カフェを実施いたします。この機会に認知症の悩みや疑問、雑談など自由な語らいの場を設けますので、そちらも是非ご参加ください。



★開催日時：2017年9月3日（日） 受付 13:30～
講演会 14:00～15:00 認知症カフェ 15:10～16:30

★開催場所：あずま生涯学習センター 研修室1・2（稲敷市佐原組新田 1596）

★参加費：無料 ※事前申し込み不要。どなたでも参加いただけます。

★主催：NPO 法人認知症介護家族の会うさぎ 〒300-0617 稲敷市福田 1597
TEL：0299-77-9173 E-mail：kaigo-k-usagi@iaa.itkeeper.ne.jp

★共催：いなしきの郷



災害支援は準備も大切！ 災害ボランティアの基本を見直してみよう

●災害ボランティアってどんな活動？

地震や大雨、火山の噴火などの大規模災害などに見舞われた地域では、災害復興に向け家屋や地域内の清掃、被害物品の整理など様々な活動が始まります。

そこで、地域住民の力だけではなく、様々な方に協力をいただき、災害復興に向けた活動の大きな力となるのが「災害ボランティア」です。



●災害ボランティアで活動する服装、持ち物は？

事前の準備や、用意するものは、災害の種類や季節、地域によっても異なります。ケガや病気に注意した動きやすい服装で出向くことが基本です。

【最低限用意した方が望ましいもの】

- ・長袖長ズボン（着替えも用意すると◎）
- ・長靴
- ・帽子又はヘルメット
- ・マスク（防塵）
- ・ゴム手袋、軍手（厚手のもの）
- ・タオル
- ・雨具
- ・貴重品
- ・ミニ救急セット
- ・ウエストポーチ、ミニリュック（貴重品などを入れるように）
- ・自分の飲み物
- ・食料



●災害ボランティアで注意することは？

災害ボランティアには多くの方が支援にいらっしゃいます。下記のことには注意して活動を行いましょう。

<災害ボランティア活動の注意事項>

- ・被災地の状況や求められるボランティア活動は日々変化していきます。事前に最新の情報を調べてから活動に参加しましょう。
- ・飲み物、食事、宿泊先など事前に準備しておきましょう。災害直後などの被災地では、現地調達など難しいこともあるため、必要なものは事前準備が大切です。
- ・多くのボランティアさんが支援に来ますので、ボランティアセンター受付など長時間待つ場合があります。ご理解のうえ参加しましょう。
- ・ボランティア活動中に知り得た情報は、秘密厳守です。個人情報等、ネットや他人に漏らしてはいけません。

ボランティア受付



稲敷市社会福祉協議会 災害ボランティアに登録しませんか。

稲敷市社会福祉協議会では、災害が発生した時の備えとして、災害ボランティアの登録を行っています。詳しくは、稲敷市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

【お問合せ】 稲敷市社会福祉協議会 ☎：029-892-5711 ホームページ：http://www.inashiki-shakyo.or.jp/